

# 施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 6. 行政経営

(基本施策) (2) 財産・情報の適正な管理・活用

(評価担当者)

総合政策部長 山本 伸治

## 基本施策が目指す姿

市の財産と情報が、適切に管理されています。

## 関連する分野別計画

亀山市ICT活用計画、亀山市公共施設等総合管理計画

## 成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	施設の統廃合を決定した公共施設数(累計)	施設	—	H28	2	2	2			3
2	オープンデータの公開データセット件数	件	0	H28	0	38	41			20
3										
4										
5										

## 市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	市の窓口やサービスが利用しやすい	重要度 1.40	1.34		市の窓口やサービスの利用しやすさに対する満足度はやや高まっており、「思う」と「やや思う」の肯定的意見が4割弱と最も高くなっている。行政情報の入手しやすいしくみについては、満足度がやや低下しており、市民の求める情報に対し、発信が不足していることが考えられる。
		満足度 0.14	0.19		
2	行政情報を市民が入手しやすいしくみが整っている(再掲)	重要度 0.97	0.91		
		満足度 0.08	0.17		
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

## 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>B</b> まずまず進んでいる	<p>「行政情報の適切な管理」については、マイナンバーカードの活用による証明書のコンビニ交付実施、オープンデータ化の推進、行政情報システムのクラウド化など概ね順調に進めることができ、個別判定をBとしている。</p> <p>「公有財産の効率的・効果的な活用」では、公共建築物個別施設計画を策定し、今後の計画的な施設の統廃合や複合化に向けた検討に繋がったことから、個別判定をAとしている。「新庁舎建設の推進」については、新庁舎整備基本計画策定に向け、外部委員会や市民ワークショップなどを開催し、中間案を作成したことから、個別判定をAとしている。これらのことから、総合判定をBとした。</p>
<b>反省点・課題</b>	
<p>「行政情報の適切な管理」については、マイナンバーカードの普及による証明書のコンビニ交付の充実など、更なる市民の利便性の向上を図る必要がある。</p> <p>「公有財産の効率的・効果的な活用」については、公共建築物個別施設計画を策定したが、今後の施設の在り方について検討を重ねる必要がある。また、新庁舎整備基本計画策定については中間案を策定したが、今後、建設候補地の選定等計画策定に向け進める必要がある。</p>	

## 今後の展開方針

マイナンバーカードの更なる普及を促進し、証明書のコンビニ交付を充実させるとともに、活用の拡充を検討していくなど、今後も亀山市ICT利活用計画の適切な進捗管理を行っていく。

公共建築物個別施設計画については、今後の施設の在り方について所管課と随時協議を行い、施設の統廃合や複合化に向けて継続的に検討を行う。新庁舎整備基本計画策定については、今後、建設候補地を5か所程度選定するとともに、計画策定に向け取組を進める。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		行政情報の適切な管理					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 亀山市ICT活用計画に基づき、マイナンバーカードを活用した各種証明書のコンビニ交付や図書館情報システムのクラウド化を実施するとともに、行政情報オープンデータサイトを拡充することができた。また、情報セキュリティ研修などの職員研修を実施し、行政情報管理に関する職員意識の向上に努めた。また、公文書管理については、書庫内の簿冊の棚卸しを進めている。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 マイナンバーカードの活用、オープンデータ化の推進、行政情報システムのクラウド化、公文書の取扱い等について、概ね順調に進めることができたことから、職員意識の向上を含めた行政情報の適切な管理について、まずまずの施策推進を図ることができた。また、公文書管理については、集中書庫内の整理を行うことにより簿冊管理の適正化に繋がっている。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17102	行政情報システム事業(住民情報系)	主	109,000 / 108,363		B	B
	17103	行政情報システム事業(内部情報系)	主	80,370 / 80,183		A	A
	19014	証明書等コンビニ交付事業	主	30,100 / 29,487		A	A
	2128	行政情報化推進研修事業	標	2,099 / 2,098		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		公有財産の効率的・効果的な活用					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 「公共施設等総合管理計画の基本方針」に沿って、行政財産である建築物系施設の個別施設における方向性を定める「公共建築物個別施設計画」を策定した。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 「公共建築物個別施設計画」の策定により、今後の計画的な施設の統廃合や複合化に向けた検討に繋げることができた。			
				順調に進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
				/			
				/			
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		新庁舎建設の推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 「新庁舎整備基本計画」の策定に当たり、庁内検討委員会や市民・有識者等で構成する外部委員会、また、市民ワークショップなどを開催し、新庁舎整備の基本的な方針について検討を行い、基本計画の中間案を策定した。 また、庁舎建設基金は、着実に積み立て基金残高は12億円となった。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 計画の中間案を策定したことで、令和2年度中の「新庁舎整備基本計画」策定に向け、次のステップに移ることができた。			
				順調に進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17104	新庁舎整備事業	主	8,980 / 8,448		A	A
	12018	庁舎建設基金積立事業	標	50,000 / 50,000		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果